

--

1

	Teaching Japanese as a Second Language

						(1)							
						1		2		3		4	
						1	2	3	4	5	6	7	8
		2		2		○							
		2		2		○							
		2		2		○							
		4	(4)	1 2									
		4	(4)	1 2									
		2		1									
				1									
		(3)		A	1								
				B	1								
		(3)		A	1								
				B	1								
		-		4 2									
		(0)		1									
				1									
		4		1									
				1									
		(5)		A	1								
				B	1								
		4		A	1	(6)							
				B	1								
		(0)		1									
		2	(7)	2									
		2		1 2									
		(0)		1 2									
		(0)		1 3									
		14	(8)	1 3									
		46											

1

2

3

1

A

A

B

B

2

4

2

5

1

6

4

2

1

4

7 1

2

8

6

.

日本語教育プログラムにおける学習の成果

評価項目と評価基準との関係

学習の成果		評価基準		
評価項目		極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1) 日本語教育の理論と方法に関する基礎的な知識を得る。	日本語教育の理論と方法に関する基礎的な知識を身につけ、それに基づき、問題点や課題を指摘し、解決への新たな展望を得ることができる。	日本語教育の理論と方法に関する基礎的な知識を身につけ、それに基づき、問題点や課題を指摘することができる。	日本語教育の理論と方法に関する基礎的な知識を身につけることができる。
	(2) 日本語・日本文化の教育に関する基本的な理解を得る。	日本語・日本文化の教育に関する基本的な理解を得、それに基づき、問題点や課題を指摘し、解決への新たな展望を得ることができる。	日本語・日本文化の教育に関する基本的な理解を得、それに基づき、問題点や課題を指摘することができる。	日本語・日本文化の教育に関する基本的な理解を得ることができる。
	(3) 日本語教育の現状と課題に関する基本的な理解を得る。	日本語教育の現状と課題に関する基本的な理解を得、それに基づき、問題点や課題を指摘し、解決への新たな展望を得ることができる。	日本語教育の現状と課題に関する基本的な理解を得、それに基づき、問題点や課題を指摘することができる。	日本語教育の現状と課題に関する基本的な理解を得ることができる。
	(4) 日本語教育6領域に関する基礎的な知識を得る。	日本語教育6領域に関する基礎的な知識を身につけ、それに基づき、問題点や課題を指摘し、解決への新たな展望を得ることができる。	日本語教育6領域に関する基礎的な知識を身につけ、それに基づき、問題点や課題を指摘することができる。	日本語教育6領域に関する基礎的な知識を身につけることができる。
能力・技能	(1) 日本語教育の理論と方法について、調査・実験・資料分析を通じて、理解を深める。	日本語教育の理論と方法について、調査・実験・資料分析を通じて、理解を深め、それに基づき、問題点や課題を指摘し、解決への新たな展望を得ることができる。	日本語教育の理論と方法について、調査・実験・資料分析を通じて、理解を深め、それに基づき、問題点や課題を指摘することができる。	日本語教育の理論と方法について、調査・実験・資料分析を通じて、理解を深めることができる。
	(2) 日本語・日本文化の教育について文献・資料・情報に基づき、個別テーマを設定して研究する。	日本語・日本文化の教育について文献・資料・情報に基づき、個別テーマを設定して研究し、顕著な成果を得ることができる。	日本語・日本文化の教育について文献・資料・情報に基づき、個別テーマを設定して研究し、成果を得ることができる。	日本語・日本文化の教育について文献・資料・情報に基づき、個別テーマを設定して研究することができる。
	(3) 日本語教育の現状と課題について文献・資料・情報を収集・整理し、問題を明確化する。	日本語教育の現状と課題について文献・資料・情報を適切に収集・整理し、問題を明確化し、解決への新たな解決策を提示することができる。	日本語教育の現状と課題について文献・資料・情報を適切に収集・整理し、複数の問題を明確化することができる。	日本語教育の現状と課題について文献・資料・情報を収集・整理し、問題を明確化することができる。
	(4) 日本語教育6領域に関して個別的・専門的に研究する。	日本語教育6領域に関して個別的・専門的に研究し、顕著な成果を得ることができる。	日本語教育6領域に関して個別的・専門的に研究し、成果を得ることができる。	日本語教育6領域に関して個別的・専門的に研究することができる。
実践的な力	(1) 日本語教育の実践に向けて、その方法を構想・立案する。	日本語教育の実践に向けて、その方法を具体的かつ適切に構想・立案することができる。	日本語教育の実践に向けて、その方法を具体的に構想・立案することができる。	日本語教育の実践に向けて、その方法を構想・立案することができる。
	(2) 日本語教育の実践に向けて、その内容を分析・開発する。	日本語教育の実践に向けて、その内容を批判的に分析し、より優れたものを開発することができる。	日本語教育の実践に向けて、その内容を総合的に分析・開発することができる。	日本語教育の実践に向けて、その内容を分析・開発することができる。
	(3) 日本語教育の実践に向けて、指導案を構想する。	日本語教育の実践に向けて、効果的で実践可能な指導案を構想することができる。	日本語教育の実践に向けて、実践可能な指導案を構想することができる。	日本語教育の実践に向けて、指導案を構想することができる。
	(4) 日本語教育の実践に向けて、新たな研究を計画し、推進する。	日本語教育の実践に向けて、新たな研究を具体的に計画し、効率的に推進することができる。	日本語教育の実践に向けて、新たな研究を具体的に計画し、推進することができる。	日本語教育の実践に向けて、新たな研究を計画し、推進することができる。
総合的な力	(1) 個人、あるいはグループで研究・活動を立案し、効果的に実現する。	個人、あるいはグループで研究・活動を独創的に立案し、効果的に実現することができる。	個人、あるいはグループで研究・活動を適切に立案し、効果的に実現することができる。	個人、あるいはグループで研究・活動を立案し、効果的に実現することができる。
	(2) 個々の研究や教育実践の成果をレポートや論文にまとめ、プレゼンテーションをする。	個々の研究や教育実践の成果を優れたレポートや論文にまとめ、説得力のあるプレゼンテーションをすることができる。	個々の研究や教育実践の成果を優れたレポートや論文にまとめ、プレゼンテーションをすることができる。	個々の研究や教育実践の成果をレポートや論文にまとめ、プレゼンテーションをすることができる。
	(3) コンピュータなどITを用いて、基礎的な情報処理や教材開発をする。	コンピュータなどITを効果的に用いて、基礎的・応用的な情報処理や教材開発をすることができる。	コンピュータなどITを効果的に用いて、基礎的な情報処理や教材開発をすることができる。	コンピュータなどITを用いて、基礎的な情報処理や教材開発をすることができる。
	(4) 日本語教育6領域の各領域を相互に関連づけ、日本語教育の諸問題を改善・創造する。	日本語教育6領域の各領域を相互に有機的に関連づけ、体系的な視点から、日本語教育の諸問題を改善・創造することができる。	日本語教育6領域の各領域を相互に有機的に関連づけ、日本語教育の諸問題を改善・創造することができる。	日本語教育6領域の各領域を相互に関連づけ、日本語教育の諸問題を改善・創造することができる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

Yellow bar

Orange bar

Yellow bar

Cyan bar

Orange bar

Yellow bar

Cyan bar

Orange bar

Yellow bar

Cyan bar

Orange bar

Green bar

Yellow bar

Cyan bar

Orange bar

Green bar

Cyan bar

Yellow bar

Orange bar

Green bar

		6868	A105	hshirak@
		6873	A311	ynishina@
		6877	A310	west@
		6867	A108	yhatasa@
		6871	A106	nmatsu@
		6869	A308	yanagisa@
		6878	A110	anakayam@
		6866	A107	ryota@
		6874	A205	hnishi@
		6865	A309	tomokow@
		6846	A204	csakurai@

E-mail

@

hiroshima-u.ac.jp